

大使館情報

2019年8月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（7月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（7月の出来事）

【内政】

- (1) 年金制度改革に関する憲法修正案
- (2) 伯大統領府情報庁（ABIC）長官の就任
- (3) モーロ法務・治安大臣等に対するハッキング容疑者の逮捕

【外交】

- (1) 第3回伯中戦略対話の開催
- (2) 第3回BRICS外相会合の開催
- (3) ドリアン仏外務大臣の訪伯
- (4) ロス米国商務長官の訪伯
- (5) 米国、伯を「主要な非NATO同盟国」に指定

3. トピックス

- (1) 第22回日本ブラジル経済合同委員会の開催
- (2) 訪日観光促進イベント「Descubra os encantos do Japão（日本の魅力を再発見!）」の開催
- (3) 笹川日本財団会長及び山田大使のボルソナーロ大統領表敬訪問
- (4) 連邦上院議会における日本人ブラジル移住111周年特別記念式典の開催
- (5) 丸橋総領事のリオグランデドノルテ州知事表敬（レシフェ総）
- (6) リモエイロ市の日本語講座（レシフェ総）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（7月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、7月26日時点で、GDP成長率予測については、2019年は0.82%で先週と変わらず、2020年は2.10%で先週と変わらず。インフレ率については、2019年は3.80%で先週3.78%から0.02%増加、2020年は3.90%で先週と変わらず。

(イ) 5月の鉱工業生産指数は、前月比-1.3%、前年同月比▲6.1%を記録。

(ウ) 5月の小売売上高は、前月比+0.3%、前年同月比▲4.5%を記録。

(エ) 全国の失業率（4～6月の移動平均）は12.0%となり、前回の公表値（12.3%：3～5月の移動平均）より改善した。

(オ) 5月の貿易収支は、輸出額は212.57億ドル（前年同月比+10.0%、前月比+7.74%）、輸入額は149.72億ドル（前年同月比+12.9%、前月比+9.88%）で、差引き62.85億ドル（前年同月比+3.64%、前月比+2.98%）となり、51か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 6月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.01%となり、前月の+0.13%から減少した。12ヶ月の累計では3.37%となり、政府のインフレ目標（4.25%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) 7月2日、経済省は2019年の貿易収支の見通しを従来の500億リアル（黒字）から、567億リアル（黒字）に上方修正したと発表、2019年6月までの貿易収支は271億リアルを計上し、昨年上半期の300億1,700万リアルより減少となった。

(イ) 7月4日、下院の特別委員会は年金制度改革法案の票決を行い、36票対13票で可決した。ホドリゴ・マイア下院議長（DEM）は、12日までに下院本会議で票決を行う考えであると述べた。

(ウ) 7月12日、下院本会議は年金制度改革法案を可決（1回目）した。同法案では、教員・連邦警察の年金受給開始年齢が原案より引き下げられ、州・地方公務員が対象から除外されるなど内容が修正されている。

(エ) 7月19日、経済省は2019年第2四半期の5カ国（米国・中国・日本・フランス・イタリア）の対伯投資額・投資計画数について、22の企業による投資案件が36件、うち金額が確認された28件の投資合計額が150億ドルであると公表した。

(オ) 7月24日、ゲデス経済相は、景気刺激策として勤続年金保障基金（FGTS）の資金引き出しを、1口座につき500リアルまで、2019年9月～2020年3月を引出期間として認めること発表した。これにより、2019年300億リアル、2020年120億リアルの経済効果が見込まれると発言した。

(3) 中銀の金融政策等

金融政策委員会が7月30日及び31日に開催され、政策金利を0.50%引き下げ、年率6.00%とすることを決定。政策金利の引き下げは11回ぶり。次回会合は9月17日及び18日に開催予定。

(4) 為替市場

(ア) 7月の為替レートは、1ドル=3.7～3.8リアル台で推移。

(イ) 月の前半は、年金制度改革法案が下院本会議で可決（1 回目）されたことでレアルが買われた。

(ウ) 月の後半は、年金制度改革案の下院本会議での 2 回目の票決が休会明けの 8 月 6 日まで延期されたことや、ブラジル中銀が発表する経済見通しで、2019 年末の GDP 成長率が 0.81%と 20 週連続で下落したこと、伯中銀の利下げからレアルが売られた。

(5) 株式市場

(ア) 7 月のブラジルの株式相場（Ibovespa 指数）は、年金制度改革を巡る楽観的な見通し、月末の中銀利下げ期待から概ね上昇し、終値は 101,812 ポイントとなった。

(イ) 月の前半は、年金制度改革を巡る報道、月末の FOMC 及びブラジル中銀の利下げ期待から株価が上昇し、過去最高値である 105,817 ポイントを記録した。

(ウ) 月の後半は、年金制度改革の下院 2 回目の議決が休会明けの 8 月 6 日以降となったこと、米中経済摩擦、中銀の発表する経済見通しで GDP 成長率が下落し景気が底入れしたとの見方から、株価は下落し、月末終値は 101,812 ポイントとなった。

2. ブラジル政治情勢（7 月の出来事）

【内政】

(1) 年金制度改革に関する憲法修正案

7 月 10 日、下院本会議において年金制度改革に関する憲法修正案の第 1 回投票が行われ、可決必要票を上回る 379 票で可決された（反対：191，棄権：3）。その後、第 2 回投票が 8 月 6 日に行われ、下院で承認。

(2) 伯大統領府情報庁（A B I N）長官の就任

7 月 11 日、アレシャンドレ・ラマジェン氏が大統領府情報庁（A B I N）長官に就任。

(3) モーロ法務・治安大臣等に対するハッキング容疑者の逮捕

7 月 23 日、連邦警察は、セルジオ・モーロ法務・治安大臣等に対するハッキングの容疑者 4 人を逮捕した。

【外交】

(1) 第 3 回伯中包括的戦略対話の開催

7 月 25 日、第 3 回伯中包括的戦略対話がブラジリアで開催され、アラウージョ外務大臣及び王毅中国国務委員兼外交部長が共同議長を務めた。両国外相は、両国の外交関係樹立 45 周年につき祝意を述べ、本年のハイレベル往来日程を確認しつつ、二国間アジェンダの堅固さを強調。また、二国間協力に加え、WTO、G 2 0、B R I C S 等、両国の域内及び国際アジェンダに関するテーマについても協議した。

(2) 第 3 回 B R I C S 外相会合の開催

7月26日、BRICS外相会合がリオデジャネイロで開催され、伯、露、印、中、南アの代表者が出席。各国外相は、国際アジェンダにおける主要問題につき協議。また、相互尊重・理解、平和、連帯、開放性、包括性、及び、互恵的な協力を特徴とするBRICS協力の進展を歓迎し、経済、平和・安全保障、人物交流という3つの柱に基づく協力を更に深化していくことで合意。

(3) ドリアン仏外務大臣の訪伯

7月27～30日、ドリアン仏外相が伯に公式訪問し、アラウージョ外相と外相会談を実施。ドリアン仏外相は、ブラジルのOECD加盟につき支持表明。両国外相は、EUメルコスールFTAの可能性につき協議し、ベネズエラ情勢（及び同国における民主主義の回復）等の域内・国際問題についても意見交換した。

(4) ロス米国商務長官の訪伯

7月31日、ロス米国商務長官は、ボルソナーロ大統領と会談を行い（ゲデス経済大臣同席）、二国間経済・貿易関係の緊密化に向けた話し合いが行われた。

(5) 米国が伯を「主要な非NATO同盟国」に指定

7月31日、米国政府は伯を「主要な非NATO同盟国」に指定した。

3. トピックス

(1) 第22回日本ブラジル経済合同委員会の開催

7月29-30日、サンパウロ市において、第22回日本ブラジル経済合同委員会が開催されました。

日本ブラジル経済合同委員会は、日本側は経団連、ブラジル側はブラジル全国工業連盟（CNI）が中心となって、両国の民間企業代表が一堂に会して討議する場です。1975年に始まり、本年度第22回目となり、およそ430名、うち日本側から130名の出席者を得て開催されました。

日本国大使館からは山田大使が出席し、開会の挨拶において、日伯間の活発な経済交流を喜ばしいとしつつ、潜在能力等を考えれば、まだ伸びる余地はあること、ブラジルの年金制度改革、税制改革、対外経済開放等の進展が期待されていること、今年に入り、安倍総理大臣とボルソナーロ大統領が二度会談を行い、両国間で幅広い分野における協力を一層推進することで認識を共有している旨を述べました。

今回の経済合同委員会では、日ブラジル経済の短期・長期的概況、日メルコスールEPA、農業・インフラ整備、日ブラジルの持続可能な開発目標（SDGs）及び2030年に向けた協力など、幅広い分野について活発な意見交換が行われました。また、飯島経団連日本ブラジル経済委員会委員長とバルトロメオ・ブラジル日本委員会委員長との間で日メルコスールEPAに向けた共同声明を採択しました。

今回の経済合同委員会が、日ブラジル両国における経済交流の一層の増進につながっていくことが期待されます。



(山田大使が、7月28日に日本側出席者への[ブリーフィング](#)で用いた資料はこちら)

(2) 訪日観光促進イベント「Descubra os encantos do Japão (日本の魅力を再発見!)」の開催

7月11日、在ブラジル日本大使館は、JNTO（日本政府観光局）と共に、訪日観光促進イベント「Descubra os encantos do Japão (日本の魅力を発見!)」を開催し、訪日観光のプロモーションを行った。

本イベントでは、伊勢尚史 JNTO ニューヨーク事務所長、山田大使、河野賢二 JAPAN TRAVEL 社代表、ホベルト・マクスウェル Tabi ji 社代表が訪日観光の魅力を紹介したほか、航空会社・ホテルなど日本の企業とブラジリアの旅行業者による商談会も開催され、メディアの方々も多数出席する中で、観光関係者による意見交換が活発に行われた。

また、参加者には厳選された日本酒等、日本産酒類と野原一峰公邸料理人による日本食も提供され、訪日観光の魅力としての「食」のPRも併せて行われた。



①商談会の様子



②厳選された日本酒等の日本産酒類

(3) 笹川日本財団会長及び山田大使のボルソナーロ大統領表敬訪問

7月8日、当地訪問中の笹川陽平日本財団会長は、山田大使とともに、ボルソナーロ大統領を表敬訪問し、ブラジルにおけるハンセン病対策等について意見交換を行った。

笹川氏は、世界保健機関(WHO)ハンセン病制圧大使として長年ハンセン病問題に取り組んでおり、我が国政府は、2007年から同氏に「ハンセン病人権啓発大使」を委嘱している。

会談では、ボルソナーロ大統領の発案で急遽フェイスブックによるライブ配信が行われるとともに、ハンセン病に関する正しい知識の普及の重要さと、ブラジル政府としても日本財団と協力して取り組んでいく旨大統領と同席のマンデッタ保健大臣、アルヴェス女性・家族・人権大臣が述べ、笹川氏は伯政府とも協力してハンセン病対策を推進していきたい旨述べた。



(4) 連邦上院議会における日本人ブラジル移住 111 周年特別記念式典の開催

7月8日、連邦上院議会・本会議場において、日本人ブラジル移住 111 周年特別式典が開催されました。レイラ・ド・ヴァレー上院議員 (PSB, 連邦直轄区) が議長を務め、山田大使が来賓の一人として出席した。

冒頭、レイラ・ド・ヴァレー上院議員より、ブラジリアへの首都移転時の日系社会の貢献を含め、経済、医療、教育、スポーツ、文化など各分野における日本人移住者の貢献に感謝したい旨の挨拶が行われた。

山田大使からは、本年は、伯にボルソナーロ新政権が発足し、我が国でも令和時代が始まり、両国も新時代を迎えている、先月末にはボルソナーロ大統領が G20 大阪サミット出席のため訪日

し、安倍総理と二度目の首脳会談が実施された、歴史的な両国関係を更に前進させていきたい旨述べた。

その他、セシリア・イシタニ伯外務省日本・朝鮮半島・太平洋局長や佐藤洋史 JICA 伯事務所所長、ルイス・ニシカワ FEANBRA 会長が来賓挨拶を行った。

[\(山田大使の挨拶はこちら\)](#)

[\(連邦上院ウェブサイトの記事はこちら\)](#)

(5) 丸橋総領事のリオグランデドノルテ州知事表敬 (レシフェ総)

7月2日、丸橋在レシフェ総領事は、リオグランデドノルテ州のファッチマ・ベゼッハ知事を表敬訪問した。

州都ナタルの州政府の知事室において、同知事をはじめ、ロベルト副知事、サルダーニャ農牧畜漁業局長他、関係局長と日本と同州の関係について意見交換を行った。

ベゼッハ知事からは、同州は再生可能エネルギー（風力・太陽光）分野でポテンシャルがあると共に、ブラジル有数の果実の輸出州であり、特にメロンは、日本人移住者がもたらしたものと話があった。ブラジルの北東地方は、サンパウロをはじめとする南東部に比して、日系社会や日本のプレゼンスは小さいものの、農業面における日系人の貢献が垣間見られた。



リオグランデドノルテ州知事表敬

(6) リモエイロ市の日本語講座 (レシフェ総)

7月24日、丸橋在レシフェ総領事は、ペルナンブコ州の州都レシフェから北西に車で2時間弱にあるリモエイロ市（人口約6万人）の日本語講座を訪問した。この講座は、もともと MOA（世界救世教）が創設した講座ですが、今は公立小中学校の生徒600人あまりが初歩の日本語や折り紙、踊り、歌等を通じて日本文化に親しんでいる。

丸橋総領事は、同講座の生徒による様々な発表を見学すると共に、学習ノート、色鉛筆、クレヨン、将棋・囲碁のセットなどを寄贈して、北東ブラジルで日本文化を熱心に楽しむ子供たちを

励ました。

ブラジルの北東部は、サンパウロやパラナ州など、南東部や南部ブラジルに比べて日本人や日系人の数は少ないものの、日本人や日系人の顔を見ないペルナンブコ州の地方都市でも、多くの子供たちが、熱心に日本語を勉強し、カラオケ、ヨサコイ・ソーランを踊っている姿が見られた。



① リモエイロ日本語講座への文房具類の寄贈



② リモエイロ日本語講座の発表会会場の様子



③丸橋総領事による挨拶

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 第5回七夕祭り (サンタカタリーナ州フロリアノポリス市)

日時：8月3日(土)～8月4日(日) 10:00～17:00

場所：サンタカタリーナ州立パラシオクルスデソウザ歴史博物館 (Rua Tenente Silveira, 343, 88010-560 Florianópolis, Santa Catarina)

内容：ニッポカタリネンセ協会が毎年実施する七夕をモチーフにした日本祭り。

URL：<https://www.facebook.com/events/426332161556793/>

(イ) 第11回桜祭り (パラナ州カストロ市)

日時：8月3日(土)～8月4日(日) 10:00～20:30

場所：カストロ文化体育協会 (ACEC Castro PR: Rua Mario Bertolini 215, 84172-200 Castro, Parana, Brazil)

内容：カストロ文化体育協会が毎年桜の開花に合わせて実施する日本祭り。

URL：<https://www.facebook.com/events/2344636045750572/>

(ウ) 第30回マリンガ体育祭 (パラナ州マリンガ市)

日時：8月2日(金)～8月11日(日) 10:00～20:30

場所：マリンガ文化体育協会(ACEMA: Av. Kakogawa, 50 - Parque das Grevileas, Maringá - PR, 87025-000)

内容：マリンガ文化体育協会が実施する日本祭り。舞台では日本舞踊や太鼓、よさこい、盆踊り等が披露される。

URL：<https://www.acema.com.br/noticia/245>

(エ) 第8回日本祭り (ポルトアレグレ)

日時：8月17日(土)～18日(日)

場所：ポルトアレグレ市内州軍警察学校敷地内

内容：東京オリンピック・パラリンピックを明年に控えスポーツとレジャーを主題に、伝統舞踊、和太鼓、音楽、カラオケ大会、コスプレ大会、風呂敷、生け花、盆栽、着物、陶芸等の展示等の開催、焼きそば、ラーメン、餃子等の飲食物を販売する。

URL：<http://festivaldojapaors.com/>

(オ) 日本アニメ映画祭 ANIME: ANIME: O Fantástico Mundo das Animações Japonesas

(ブラジリア, リオ)

日時：8月20日(火)～9月1日(日) (ブラジリア)

8月21日(水)～9月2日(月) (リオ)

場所：CCBB (ブラジリア, リオ)

内容：世界の映画製作者に大きな影響を与えた『アキラ』(大友克洋、1988年)、『攻殻機動隊』(押井守、1995年)等のエポックメイキングな作品、スタジオジブリの4作品や新海誠の代表作の1つである『秒速5センチメートル』などの日本アニメ作品をブラジリアとリオで上映。

URL：当館 Facebook (<https://www.facebook.com/EmbaixadaDoJapao/>) と Instagram (<https://www.instagram.com/embaixadajapao/>) で公表いたします。

(カ) 第17回ゴイアス盆踊り (ゴイアニア)

日時：8月23日(金)～24日(土) 19時30分～23時30分

場所：ゴイアス日伯文化協会会館 (ANBG)

内容：毎年約7,000人が参加するゴイアス州最大規模の日本関連イベントであり、盆踊り、太鼓グループによる太鼓演奏、祭り踊り披露が行われるほか、飲食店が出店される。在ブラジル日本国大使館もブース出店予定。

URL：<https://www.nippobrasilia.com.br/events/17o-bon-odori-2019-anbg-goiania-go/>

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

2019年2月12日付で内容を改訂したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html